

令和4年度学校運営協議会

第9回 令和5年1月24日(火)午後3時から午後4時

「教育調査」の結果について協議されました。議題の中心となったのは、「教育相談」の項目についてでした。「保護者」と「児童」の肯定率の差がどうして生まれるのか、「担任以外の相談窓口が見えにくいこと」や「幼稚園・保育園とのちがひ」、「新型コロナウイルスの影響」等、さまざまな意見や考えが出されました。次年度に向け、学校の誰に相談してもよいという体制について、より保護者の方にも児童にもしっかりと伝えていき、一層、児童に寄り添う学校にしていくことが大切とまとめられました。

「学校関係者評価」では、残菜率について「他校はどれくらいなのか」という質問がありました。佐野校長より、「給食の残菜率は落ち着いた学校のバロメーターであり、よく食べる学校で残菜率が5%程度の学校は落ち着いていることが多く、10%を超える学校は落ち着かない傾向がある。」という話があり、意外な関係性について知ることができました。